

<第1四半期決算 補足説明資料>

平成31年3月期

第1四半期決算概要

平成30年8月10日

## 国内

引き続き堅調な企業収益や雇用情勢の改善等により緩やかな回復基調で推移

## 海外

- ・欧米を中心に堅調に推移
- ・米国の通商政策への懸念や地政学的リスクが残る等、不透明な状況が続く

### 鉱工業生産指数の推移



(出典:時事ドットコム)

# ■当社グループの業績等

## ●損益の状況(連結)

(単位:百万円)

	平成30年3月期 第1四半期	平成31年3月期 第1四半期	対前年同四半期比 増減額(増減率)
売上高	2,598	3,126	527 (20.3%)
営業利益	137	335	197 (143.6%)
経常利益	188	370	182 (96.8%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	132	262	130 (98.5%)

《当第1四半期の概況》  
機械部品事業、電機部品事業  
とも好調に推移し、増収増益

## ●財務の状況(連結)

(単位:百万円)

科目	平成30年 3月期期末	平成31年 3月期 第1四半期	前連結会計 年度末比 増減額
総資産	16,118	16,263	144
負債	6,540	6,571	30
純資産	9,578	9,692	114

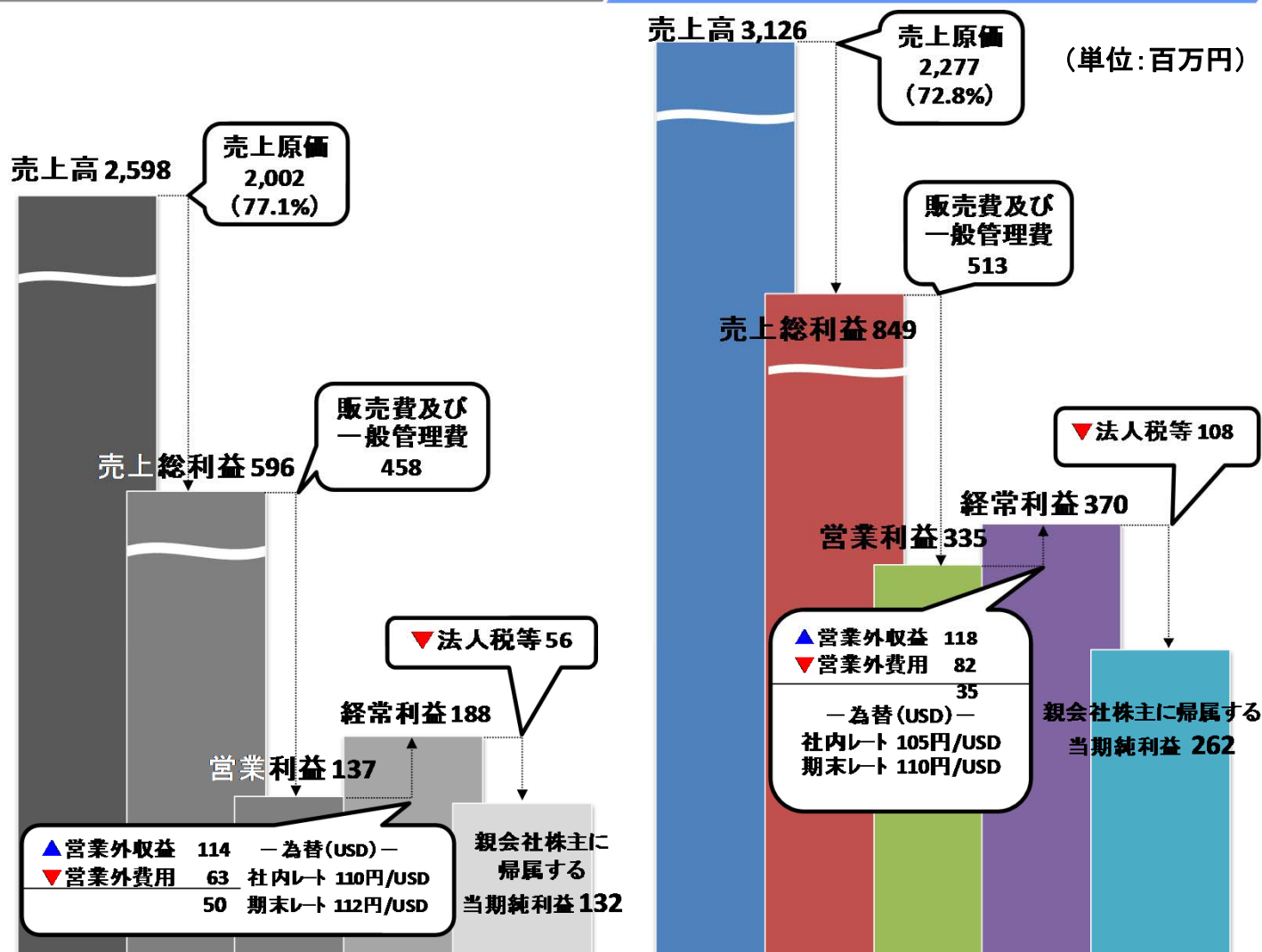
### 《当第1四半期末の概況》

- ・総資産:前期末比、144百万円増加  
(流動資産は減少、固定資産は増加)
- ・負債:前期末比、30百万円増加  
(流動負債、固定負債ともに増加)
- ・純資産:前期末比、114百万円増加

# ■ 損益の概況(連結)

平成30年度3月期第1四半期

平成31年3月期第1四半期



項目	要因
売上総利益	連結各社売上高増加により増益
営業利益	個別の販管費が増加するも売上高増加により増益
経常利益	本社ビルの計画修繕増加により営業外費用が増加するも売上高の増加により増益
親会社株主に帰属する当期純利益	税金費用が増加するも営業利益等の増加により増益

# ■ 事業部別売上高の状況

## 平成31年3月期第1四半期 セグメント別売上高

機械部品事業

1,839  
59% (53%)

超硬合金  
製品



セラミック  
製品



電機部品事業

1,296  
41% (46%)

金属材料  
製品



電気・電子  
材料製品



1,262  
40%  
(35%)

平成31年  
3月期  
第1四半期  
売上高  
3,140  
(内部取引含む)

487  
15%  
(18%)

809  
26%  
(28%)

576  
19%  
(19%)

単位：百万円

( ) は前年同四半期の占有比率



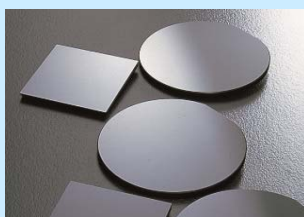
# ■ 事業部別主要製品の状況

## 機械部品事業



### 衛生用品関連のNTダイカッター

- ・国内: 技術イノベーションが採用された効果及びお客様の設備投資が抑制から反転し、増加基調となり、増収
- ・海外: 引き続き好調に推移



### 情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板

- ・HDDの需要が想定よりも増加し、増収



	平成30年3月期第1四半期	平成31年3月期第1四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	1,410	1,839	428 (30.4%)
営業利益 (百万円)	170	355	185 (109.0%)

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

# ■ 事業部別主要製品の状況

## 電機部品事業



### 自動車関連の接点製品

・海外向けEV用接点製品が好調で増収



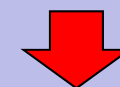
### 自動車関連のワイヤー製品

・堅調に推移し、増収



### 自動車関連の電極製品

・一部製品の需要減少により減収



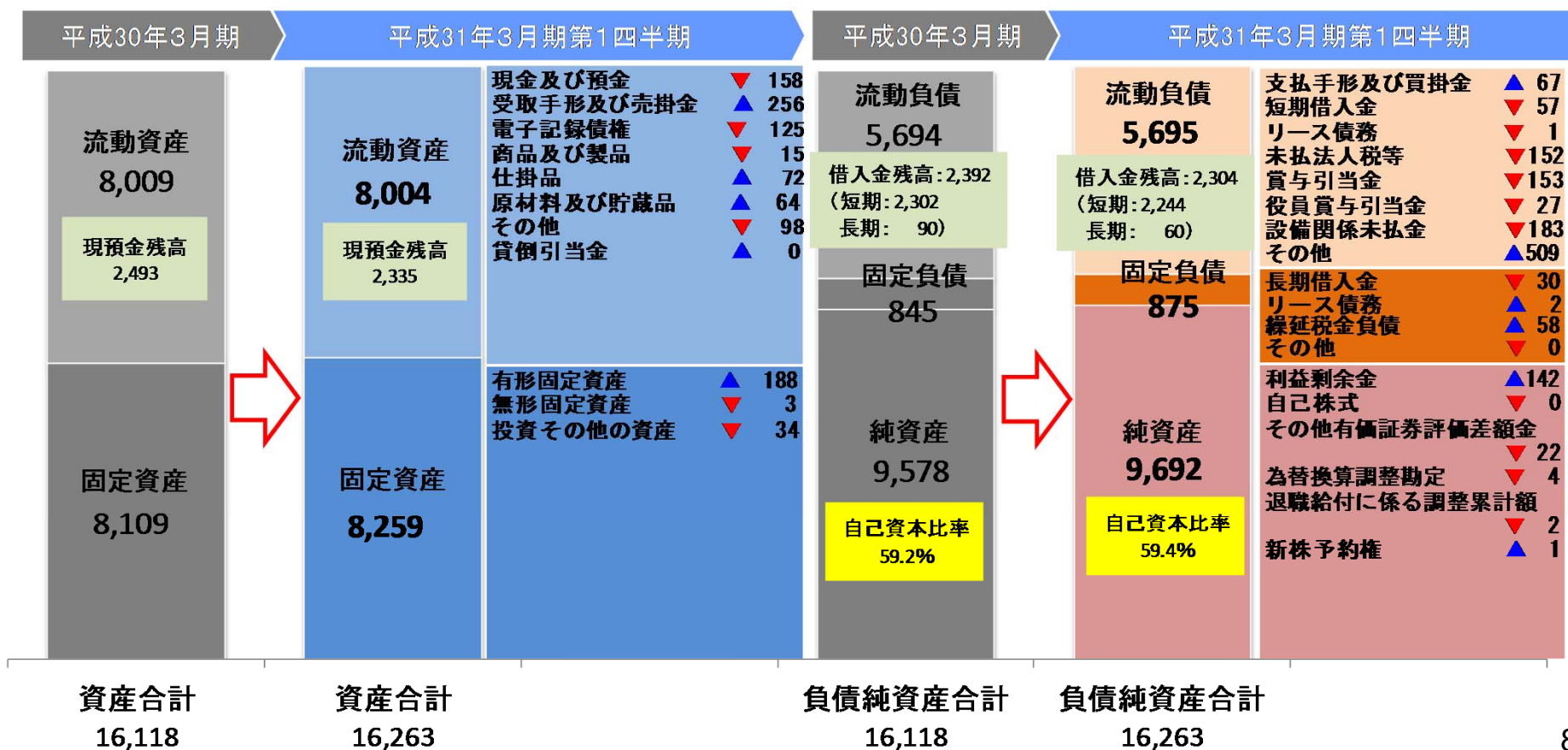
	平成30年3月期第1四半期	平成31年3月期第1四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	1,194	1,296	102 (8.6%)
営業利益 (百万円)	81	114	32 (40.3%)

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

# 財務の状況(連結)

(単位:百万円)

科目	平成30年3月期 期末	平成31年3月期 第1四半期	前連結 会計年度末比
総資産	16,118	16,263	144
負債	6,540	6,571	30
純資産	9,578	9,692	114





## ■ 第2四半期累計期間業績予想について

- ・情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板及び電子部品関連の金型製品が当初見込みよりも好調に推移
  - ・衛生用品関連のNTダイカッターも国内、海外ともに堅調に推移
  - ・個別業績は、子会社からの受取配当金が想定より増加
- 以上より、第2四半期累計期間の連結・個別業績予想を修正します。

### 1. 平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	5,500	320	400	280	115.85
今回修正予想 (B)	6,000	540	610	450	186.21
増減額 (B - A)	500	220	210	170	
増減率 (%)	9.1	68.8	52.5	60.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	5,326	337	490	371	154.23

### 2. 平成31年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	5,200	230	430	230	95.16
今回修正予想 (B)	5,700	400	630	510	211.02
増減額 (B - A)	500	170	200	280	
増減率 (%)	9.6	73.9	46.5	121.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	5,049	269	384	294	122.36

通期業績予想は、米国の通商政策への懸念や地政学的リスク及び今後の市場動向等を踏まえ、現在検討中。  
今後業績の修正が必要となった場合は、速やかに開示します。

また、配当予想についても、第2四半期累計期間と通期の見通しを精査したうえで、修正が必要となった場合は、速やかに開示します。

## ■ご注意

**本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。**

**また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。**

**従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。**

**投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。**